

船舶事故調査報告書

平成29年2月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年10月1日 06時55分ごろ
発生場所	香川県 <small>しょうどしま</small> 小豆島町チョウシャノ鼻南岸沖 地蔵 <small>じぞうさま</small> 埼灯台から真方位060° 1,700m付近 (概位 北緯34°25.4′ 東経134°15.1′)
事故の概要	プレジャーボート <small>せいしん</small> 盛進丸は、南西進中、干出浜（岩）に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年10月7日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 盛進丸、5トン未満（長さ7.61m） 280-30499香川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	船底に擦過傷、推進器翼等に曲損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風速 約0.4m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人4人を乗せ、チョウシャノ鼻南岸沖の釣り場を約2ノットの対地速力で、手動操舵により南西進していたところ、同鼻南岸沖に拡張する干出浜に乗り揚げた。 船長は、チョウシャノ鼻南岸沖に干出浜が存在することを知らなかった。 本船の喫水は、船首約0.6m、船尾約0.8mであった。
分析	本船は、船長が、チョウシャノ鼻南岸沖に拡張する干出浜の存在を知らなかったことから、同干出浜に向かって航行したものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、チョウシャノ鼻南岸沖に拡張する干出浜の存在を知らなかったため、同干出浜に向かって航行し、本船が同干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に航行海域の水路調査を行うこと。